

平成 2 2 年 度

生駒市病院事業会計決算書

生 駒 市

目 次

I 生駒市病院事業報告書

- 1 概 況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 建設改良費の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

II 決 算 書 類

- 1 生駒市病院事業決算報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 2 生駒市病院事業損益計算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- 3 生駒市病院事業剰余金計算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- 4 生駒市病院事業剰余金処分計算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- 5 生駒市病院事業貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

III 決 算 附 属 書 類

- 1 収益費用明細書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- 2 固定資産明細書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

IV 公営企業の経営の健全化

- 1 生駒市病院事業資金不足比率・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

I 生駒市病院事業報告書

平成 2 2 年度生駒市病院事業報告書

1 概 況

(1) 総括事項

平成 2 2 年度におきましては、平成 2 2 年 1 2 月 1 5 日付で奈良県から病院開設許可を得て、本病院事業会計を立ち上げ、二次救急医療等の政策医療を担う地域の中核的な病院として早期の開院を目指すべく、市立病院の建設事業を開始いたしました。

ア 業務概要

平成 2 2 年度におきましては、病院施設実施設計及び工事監理業務について平成 2 3 年 2 月 1 8 日付けで委託契約を締結しましたが、後日、当該委託業者による入札の資格要件の虚偽申請が判明したことから契約を解除したため、翌年度に改めて入札を行うこととなりました。

イ 収益的収支の状況

平成 2 2 年度の収益的収支につきましては、病院事業収益として、医業外収益で預金利息が 9 6 円となりました。

なお、営業運転資金として一般会計から借り入れました長期借入金 2 6 1, 0 0 0 円は医業活動に伴う収益とは言い難く、医業収益には計上しておりません。

なお、予算計上しておりました病院事業推進委員会に係る運営経費については当該委員会の開催を要しなかったため、全額不執行となりました。

この結果、当年度純利益は、9 6 円となりました。

ウ 資本的収支の状況

平成 2 2 年度の資本的収支につきましては、資本的収入として、一般会計からの長期借入金 4, 7 9 7, 0 0 0 円を借り入れました。

資本的支出としては、建設改良費として、職員給与費及び事務費 3, 0 0 6, 6 8 9 円を支出しました。また、継続費として設定しておりました病院施設実施設計及び工事監理業務委託料 1, 5 0 0, 0 0 0 円につきましては、当該年度内に支払義務が発生しなかったため、翌年度に逡次繰越いたしました。

なお、本市病院事業会計は、消費税課税事業者を選択いたしましたので、本来税抜き処理を行うべきところですが、本年度につきましては、収益的支出が全額不執行であったこと、また、資本的支出は全て建設仮勘定で整理していることから、本年度においては税抜き処理を行っておりません。

今後も、早期の市立病院の開院を目指し、より一層、迅速で効率的な事業の推進に努めます。

(2) 議会議決等事項

議案等番号	議決等年月日	事 項
議案第47号	平成22年9月27日	平成22年度生駒市病院事業会計予算
議案第56号	平成22年9月27日	生駒市立病院の指定管理者の指定について
議案第32号	平成23年3月30日	平成23年度生駒市病院事業会計暫定予算

(3) 行政官庁許認可事項

許可申請年月日	申請先	件 名	許可年月日
平成22年10月26日	奈良県知事	病院開設許可申請書	平成22年12月15日

(4) 行政官庁届出事項

届 出 年 月	届出番号	届 出 先	件 名
平成23年3月29日	—	奈良税務署長	消費税課税事業者選択届出書

(5) 職員に関する事項

職員数

(単位 人)

	事務職員	技術職員	合 計
平成23年3月31日 現在職員数	2	0	2

2 建設改良費の概要

(1) 新設改良費

(消費税及び地方消費税込み)

科目	件 名	当年度支払額(円)	契 約 日
	新設改良費に伴う事務諸費	3,006,689	
新 設 改 良 費 合 計		3,006,689	
建 設 改 良 費 合 計		3,006,689	

Ⅱ 決 算 書 類

1 平成22年度生駒市病院事業決算報告書

(1) 収益的収入及び支出

収入

区分	予算額				決算額	予算額に比べ決算額の増減	備考
	当初予算額	補正予算額	地方公営企業法第24条第3項の規定による支出額に係る財源充当額	合計			
第1款 病院事業収益	円 0	円 0	円 0	円 0	円 96	円 96	
第1項 医業外収益	0	0	0	0	96	96	

支出

区分	予算額						決算額	地方公営企業法第22条第2項の規定による繰越額	不用額	備考
	当初予算額	補正予算額	予備費支出額	流用増減額	地方公営企業法第24条第3項の規定による支出額	小計				
第1款 病院事業費用	円 261,000	円 0	円 0	円 0	円 0	円 261,000	円 0	円 0	円 261,000	
第1項 医業費用	261,000	0	0	0	0	261,000	0	0	261,000	

(2) 資本的収入及び支出

収 入

区 分	予 算 額					決算額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
	当 初 予算額	補 正 予算額	小 計	地方公営企 業法第26条の規定に よる繰越額に係る財源 充当額	継続費通 次繰越額に係る財源充 当額	合 計		
第1款 資本的収入	円 4,797,000	円 0	円 4,797,000	円 0	円 0	円 4,797,000	円 0	
第1項 他会計から の長期借入金	円 4,797,000	円 0	円 4,797,000	円 0	円 0	円 4,797,000	円 0	翌年度繰越額に係る財 源充当額1,500,000円

支 出

区 分	予 算 額						決 算 額	翌年度繰越額		不 用 額	備 考
	当 初 予算額	補 正 予算額	予備費 支出額	流 用 増減額	小 計	地方公営 企業法第26条の 規定による繰出額		継続費通 次繰越額	地方公営企 業法第26条の規定に よる繰出額		
第1款 資本的支出	円 4,797,000	円 0	円 0	円 0	円 4,797,000	円 0	円 3,006,689	円 1,500,000	円 0	円 290,311	
第1項 建設改良費	円 4,797,000	円 0	円 0	円 0	円 4,797,000	円 0	円 3,006,689	円 1,500,000	円 0	円 290,311	

2 平成22年度生駒市病院事業損益計算書

(平成22年12月15日から平成23年3月31日まで)

(単位 円)

1 医 業 費 用

(1) 給 与 費	0	
(2) 経 費	0	0

医 業 損 失 0

2 医 業 外 収 益

(1) 受 取 利 息	96	96

経 常 利 益 96

当 年 度 純 利 益

96

当年度未処分利益剰余金

96

3 平成22年度生駒市病院事業剰余金計算書

(平成22年12月15日から平成23年3月31日まで)

(単位 円)

利 益 剰 余 金 の 部

I 未 処 分 利 益 剰 余 金

(1) 当 年 度 純 利 益	96
当年度未処分利益剰余金	96

4 平成22年度生駒市病院事業剰余金処分計算書

(単位 円)

1 当年度未処分利益剰余金	96
2 利 益 剰 余 金 処 分 額	0
3 翌年度繰越利益剰余金	96

5 平成22年度生駒市病院事業貸借対照表

(平成23年3月31日)

(単位 円)

資 産 の 部

1 固 定 資 産

(1) 有 形 固 定 資 産

イ 建 設 仮 勘 定

3,006,689

有 形 固 定 資 産 合 計

3,006,689

固 定 資 産 合 計

3,006,689

2 流 動 資 産

(1) 現 金 預 金

2,281,566

流 動 資 産 合 計

2,281,566

資 産 合 計

5,288,255

負 債 の 部

3 固 定 負 債

(1) 他 会 計 借 入 金

261,000

固 定 負 債 合 計

261,000

4 流 動 負 債

(1) 未 払 金

30,159

(2) その他の流動負債

200,000

流 動 負 債 合 計

230,159

負 債 合 計

491,159

資 本 の 部

5 資 本 金

(1) 借 入 資 本 金

イ 他 会 計 借 入 金

4,797,000

借 入 資 本 金 合 計

4,797,000

資 本 金 合 計

4,797,000

6 剰 余 金

(1) 利 益 剰 余 金

イ 当年度未処分利益剰余金

96

利 益 剰 余 金 合 計

96

剰 余 金 合 計

96

資 本 合 計

4,797,096

負 債 資 本 合 計

5,288,255

Ⅲ 決 算 附 属 書 類

1 平成22年度生駒市病院事業会計収益費用明細書

(1) 収益の収入

款	項	目	節	金 額(円)	備 考
病院事業収益				96	
	医 業 外 収 益			96	
		受 取 利 息		96	
			預 金 利 息	96	

(2) 収益の支出

款	項	目	節	金 額 (円)	備 考
病院事業費用				0	
	医 業 費 用			0	
		給 与 費		0	
			報 酬	0	
		経 費		0	
			食 料 費	0	
			賃 借 料	0	
			通 信 運 搬 費	0	

2 固 定 資 産 明 細 書

(1) 有形固定資産明細書 (単位 円)

資産の種類	年度当初の 現在高	当年度 増加額	当年度 減少額	年度末 現在高	減 価 却 累 計 額			年 度 末 償却未済高	備 考
					当年度増加額	当年度減少額	累 計		
建設仮勘定	0	3,006,689	0	3,006,689	0	0	0	3,006,689	
合 計	0	3,006,689	0	3,006,689	0	0	0	3,006,689	

IV 公営企業の経営の健全化

公営企業の経営の健全化

1. 生駒市病院事業資金不足比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第 22 条第 2 項に基づく資金不足比率は、以下のとおりとなった。

病院事業	－ %
------	-----

資金不足比率とは事業の規模に対する資金不足額の比率のことで、政令で定める公営企業の経営健全化基準は 20.0%となっている。生駒市病院事業では、未だ市立病院が開院していないことから、医業収益は発生せず、資金不足比率は「－%」となった。

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金不足額}}{\text{事業の規模}}$$

	資金不足額（注②）	事業の規模（注③）
病院事業（注①）	－	－

* 注① 病院事業は、地方公営企業法適用事業です。

* 注② 資金不足額＝（流動負債＋建設改良費等以外の経費の財源に充てるために起こした
地方債の現在高－流動資産）－解消可能資金不足額

* 注③ 事業の規模＝ 医業収益の額